

科目名	レクリエーション実技 I					単位	2.0
担当教員	荒深 裕規						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	5113

●授業のテーマ

レクリエーションの楽しさを知る。

●到達目標

様々な主体に合わせて、レクリエーション活動をクリエイティブに考えられるようになる。

●学習内容(授業概要)

福祉レクリエーション・ワーカーの資格取得には、必須科目です。

「遊び」はレクリエーション財として必要不可欠なものです。豊かで楽しい生きがいがづくりや人間形成、リハビリテーションにも欠かせない資質です。コミュニケーションゲームの学習を通して、福祉現場で「生活の質」の向上を支援できる資質を持った人材の育成を考えます。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. コミュニケーション・ワーク(1)「ホスピタリティとは」
2. コミュニケーション・ワーク(2)「ホスピタリティの示し方」
3. コミュニケーション・ワーク(3)「アイスブレイキングの意義と基本技術」
4. コミュニケーション・ワーク(3)「アイスブレイキングのプログラミング」
5. 目的にあわせたレクリエーション・ワーク(1)「目的にあわせたレクリエーションとは」
6. 目的にあわせたレクリエーション・ワーク(2)「素材・アクティビティの選択」
7. 目的にあわせたレクリエーション・ワーク(3)「素材・アクティビティの提供」
8. 目的にあわせたレクリエーション・ワーク(4)「対象者間の相互作用の活用法」
9. 目的にあわせたレクリエーション・ワーク(5)「指導実習 1-1」相互作用を引き出し、活用するための指導案づくり
10. 目的にあわせたレクリエーション・ワーク(6)「指導実習 1-2」指導案に基づいたレクリエーション支援の実施
11. 対象者に併せたレクリエーション・ワーク(1)「対象者に併せたレクリエーション・ワークについては」
12. 対象者に併せたレクリエーション・ワーク(2)「対象者にあわせたアレンジ法の応用」
13. 対象者に併せたレクリエーション・ワーク(3)「指導実習 2-1」既存の素材・アクティビティを想定する対象者への指導案づくり
14. 対象者に併せたレクリエーション・ワーク(4)「指導実習 2-2」作成した指導案に基づいて実施し、評価する
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

予め関連事項を確認する。そして、実践力と理解度を高めるためには、配布されたプリントおよび関連したレクリエーション情報の収集に努め、各自が準備学習・事後学習を怠らないように努力すること。

●成績評価方法・基準

出席 30% 参加態度 30% 講義の中での発表（ワーク） 40%

●テキスト（必携）

授業時に指示する。

●参考文献／その他

必要に応じて指示します。

●履修上の注意

福祉レクリエーション・ワーカー資格取得の希望者を優先します。